



建廃協NEWS No.32



収集運搬委員会の取り組み

収集運搬委員会では、毎年基本データと事故データのアンケートをとり結果をまとめています。皆様のご協力により今年で3年目となりました。今後も組合の基礎体力の把握と蓄積データとの比較等も作成しようと考えています。

このアンケート結果は建廃協のホームページに掲載され誰でもダウンロードできるようにしています。各組合員の皆さんの安全大会で自社との比較資料として活用してほしいと考えています。

アンケートの回収時に良くある質問2点について、収集運搬委員会よりお答えします。

Q1 アンケート結果はどうするの？

A1 自社の集計と、組合の混廃業者、汚泥ガウ業者、その他の各集計結果と比較し自社はどうか判断材料に使用してください。

Q2 事故への対策はみんなどうしているの？

A2 集計結果で、事故を起こしているのは、30代40代の経験5年以下の人が多数を占めているので、そこにターゲットを絞り安全教育を徹底することに努めている。が、どうしても起こってしまう事故について、当事者にみんなの前で事故報告をさせたり、現場に謝りにつれて歩いたりして、小さな事故も気を付けるよう自覚させている会社もある。

この他、年に2回春と秋には全国交通安全運動と連動し展開しております。毎年運転手さんへの呼びかけ目標は事故事例の多い内容への注意喚起を設定しています。

現在配布しておりました運転手安全マニュアルの罰則規定等を見直し再配布を予定しております。ドライバー教育へ使用して頂けるよう作成しておりますので、今後も収集運搬委員会の取り組みにご協力お願いいたします。

収集運搬委員会一同

今年度のアンケート結果は下記よりダウンロードしてご使用ください。

[2013年 収集運搬基本データ集計](#)

[2013年 平均走行距離](#)

[2013年 平均燃費](#)



[2013年 現場内事故集計](#)

[2013年 交通事故集計](#)





ベトナム建設廃棄物紀行



10月26日～10月30日でベトナム・ハノイの建設廃棄物の実情を見る機会を得ました。ここでその概要報告を数回に分け、掲載していきます。

<初めてのベトナム>

日本から5時間の飛行でベトナム・ハノイに到着。機上から見る地上の風景は、赤い屋根の住まいが集落となって点在するのどかな田園風景でした。着陸して最初に目に入ったのが、新しく大きなターミナルビルです。これは日本のゼネコンが建設中の新ターミナルビルで、今年の12月完成とのこと、飛行機はその脇にある古いターミナルに着きました。

迎えの車でホテルに向かいます。広い道路を快調に飛ばし1時間足らずでホテルに到着。空港周辺では、新ターミナルビル完成に向け道路工事が佳境に、あとで聞いたのですが、空港につながる新しい高速道路が開通するそうです。



ハノイはベトナムの首都で、人口が600万人を超えるベトナム第2の大都市です。都心では、再開発されたのか高層ビルがいくつも立ち並んでいます。旧市街地では、間口5～6m位の4、5階建ての建物が軒を連ねています。これがレンガ造だそうで大変驚きました。地震がないため、日本のように耐震性が求められないのでしょうか。

店には商品があふれ、舗道にはカフェや露店が並び、活気があります。

街中で一番驚いたのは、自動車そしてバイクの多さです。信号が変わるとまるで市民マラソンのスタートのように、一斉にバイクの波が押し寄せます。道路には信号が少なく、あふれかえる車は、強引に突っ込まないと交差点の横断ができません。交通事故が多いそうですが、日本であれば混乱で立ち往生するのではないのでしょうか。次回は<ハノイの建設廃棄物>についてです。



建設廃棄物協同組合 理事長 島田啓三

お知らせ！

- 建廃協NEWS31号で成友興業株式会社 元木研史郎さんの名前が間違っていました。正しくは元木研士郎さんです。失礼致しました。
- 1月27日(火)新春セミナーはホテルグランドパレスにて15:00～となります。

